

前めいしん

桂第15期
太郎塾

拓殖大学研究支援課

募集期間：
11月5日（土）
～25日（金）

桂太郎塾は日本の将来を背負って立つリーダーやスペシャリストを育てることを目指して、志ある学部生を選抜し、通常授業の他に、特別教育を行うというプログラムです。

塾 是

本学創設者たる桂太郎の志を礎と学びの理想を近代国家建設の原動力たる「草莽の士」を育んだ幾多の私塾に求め、健全な世界観と国家観、透徹した歴史観と倫理観を磨き、豊かな「公共精神」と「開拓精神」をもつ次代の牽引役たる俊英を育成し、もって、国家の発展と繁栄ならびに、世界の平和と安寧に資する。

塾 訓

- 一、謙虚に「知」を求め、高潔なる品性を養え。
- 一、「真実」を探求し、「正義」を貫徹せよ。
- 一、国・故郷を愛し、家族・親を慈しめ。
- 一、進取の精神を忘れず、新たな挑戦に努めよ。
- 一、卓越した識見と国際的な視野を涵養せよ。
- 一、「志」を重んじ、「礼節」をわきまえよ。
- 一、公のため、私心を捨てて献身・奉仕する勇気をもて。
- 一、先人に感謝し、師弟・知友を慕い、「人」として生きよ。

桂太郎

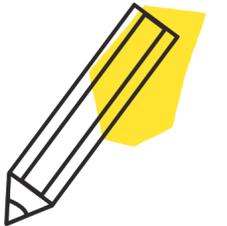
山口県生まれ。台湾総督、陸軍大臣、内務大臣、文部大臣、大蔵大臣、侍従長、内大臣、外務大臣、内閣総理大臣等を歴任。1900年、台湾協会会頭として台湾協会学校（後の拓殖大学）を創立し、初代校長に就任。





桂太郎塾プログラム

当代一流の知識人・有識者による講義などを実施



政治家やジャーナリスト、起業家など毎年、一流の講師の方を迎え、政治や経済、宗教など様々なテーマで約 90分間の講義を受けます。講義終了後には、質疑応答の時間が設けられているため、より自分自身の興味や関心を深めることができます。

【講義テーマ】

- ・地球規模課題と「人間の安全保障」
- ・ウクライナ戦争と中東情勢
- ・雇われない生き方の勧め 他
- ・仏教とは、何ぞいや
- ・激変する国際情勢と日本人の意識

これまでの主な講師

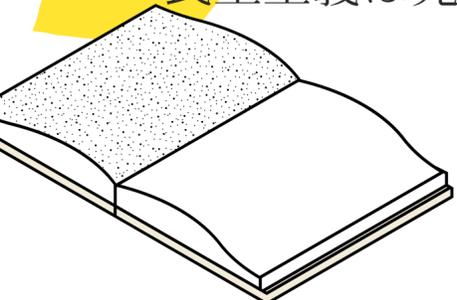
安藤桃子（映画監督）、木村文（元朝日新聞マニラ支局長）、小島誠二（元駐タイ・パキスタン大使）、田畑善朗（（株）アール・エフ・ラジオ日本代表取締役会長）、長島昭久（衆議院議員）、火箱芳文（第32代陸上幕僚長）、増田寛也（野村総合研究所顧問・元総務大臣）、宮家邦彦（内閣官房参与） 他

他の学部学科の塾生と学ぶゼミナール

ゼミナールでは日本・世界の問題や時事的な話題をテーマに、討論、論文発表等を行います。塾生たちが主体となり、それぞれの論議、意見を考察し議論を深めます。課題に対する準備力、探究力、考察力、発信力、質問力が磨かれます。そのほか、推薦する書籍をプレゼンして対抗する、ビブリオバトルも行っています。

【ゼミナールテーマ】

- ・世界から核兵器はなくなるのか？
- ・民主主義は完全か？
- ・人間にとって宗教は必要か？
- ・資産運用は行うべきか？ 他



塾生代表

政経学部経済学科 3年

餅原 匠さん

桂太郎塾の塾訓の一つに「卓越した識見と国際的な視野を涵養せよ。」とあります。現代社会は、国際紛争や環境問題など、目まぐるしいスピードで変化するとともに、私達もまた時代の転換点にいるのです。桂太郎塾では、学外講師の先生による特別講座や、集団討論、論文発表などを行います。これらは決して楽なものではなく、時には壁に突き当たることもあります。しかし、本塾での学びが、時代を先読みできる洞察力と、行動力を養うことに繋がります。ぜひ、皆さんも桂太郎塾を通じて、現代社会をリードする視野、視座を広げてみてください。



桂太郎塾第9期生
政経学部経済学科2019年度卒

日刊工業新聞社勤務

大川 武輝さん

桂太郎塾での経験は今の仕事に直結しています。取材をする際には必ず事前に準備をします。全く知らない業界を取材することも多々あるからです。そこで役に立つのは桂太郎塾で行われたディスカッションです。生半可な知識ではついていけません。桂太郎塾ではテーマに沿った本を必ず最低3冊は読むように指導されました。要点を掴む技術・学習方法・その取り組み姿勢の基礎を学べたことは、私にとってかけがえない財産です。厳しい環境に身をおいてこそ人間は成長すると思います。ぜひ、勇気を持って一歩踏み出しチャレンジしてみてください。

概要

- 対象 全ての学部 1年生・2年生（入塾時 学部2年生・3年生）
 - 定員 15名程度
 - 場所 文京キャンパス 国際教育会館（F館）
 - 期間と日時 8か月間（5月から12月頃まで 10週開講） 土曜日
講義 10：30－12：00 / ゼミナール 13：00－14：30
- 内容
- 【講義】 当代一流の知識人や有識者による講義などを実施
 - 【ゼミナール】 論文発表・集団討論などを実施
- 受講料 無料

入塾試験について

- 申込方法 志願票と小論文を記入し、研究支援課へ提出
- 申込期間 (郵送) 2022年11月5日(土)～11月22日(火)
(窓口※文京のみ) 2022年11月5日(土)～11月25日(金)
- 試験日時 2022年12月10日 土曜日 10：00～
- 場所 拓殖大学文京キャンパスF館
- 選抜方法 書類審査、面接

修了生のおもな進路

東京都教員、山梨県教員、神奈川県教員、札幌市役所、秦野市役所、いわき市役所、大館市役所、陸上自衛隊（幹部候補生）、日本年金機構、野村証券（株）、（株）東日本銀行、JR東日本（株）、富士急行（株）、（株）AIRDO、大東建託（株）、（株）ゼンショーホールディングス、（株）関東マツダ、（株）スリーボンド、自由民主党本部、（株）日刊工業新聞社、中央大学大学院、上智大学大学院、拓殖大学職員、その他（起業等）

お問い合わせ

本塾に関すること

研究支援課（文京キャンパス）
112-8585
文京区小日向3-4-14
03-3947-7595
katsurajuku@ofc.takushoku-u.ac.jp

先生に質問したいこと

塾頭補佐 野村 明史
anomura@ofc.takushoku-u.ac.jp

